

資料 3

令和 3 年 3 月 10 日

令和 3 年度の「読書感想文コンクール」について（提案）

東浦町中央図書館

方針：「読書感想文」に興味関心のあるファミリーを応援する。

① 自ら書きたい子 ② 書いた方が教育的と考える保護者 ③ 賞に意欲、活字になる

こうした子供たちと保護者の願いを大切にし、「感想文」好きな子の「好き」をさらに深めたい。

具体的な手立て

1 自由応募

- ・夏休みの課題とはしない。各校の判断にゆだねる。（「募集要項」を早めに各校へ）
- ・コンクール作品は各校で選定 従って提出は学校へ
- ・課題と自由枠なし（教科書・雑誌は除く）

（参考）令和 2 年度 応募数 小学校 101 名／2,898 名 予想以上の応募？
中学校 27 名／1,428 名

2 字数は 400 字詰原稿用紙 1 枚以上 枚数へのプレッシャー軽減

ただし、郡・県・全国大会審査には、小学校は、400 字詰原稿用紙 3 枚以内（1・2 年生は 2 枚以内）、中学校は 5 枚以内を厳守。
高校・一般は現状通り。このことを募集要項に明記する。

3 講座の充実（講師は元教員、できれば国語科の教員）

- ① 7 月「読書感想文」の書き方講座 対象：3・4 年生の児童
- ② 8 月「読書感想文」相談コーナー（仮称）（児童・保護者・講師）の 3 者
対象：3・4 年生（初年度は 10 家族を予定）

相談内容は、講師がその場で感想文を読んでのワンポイントアドバイス

感想文提出日：8 月 20 日以降

4 表彰数 () 数は令和2年度の受賞者数(応募状況 別紙)

小学校 低・中・高、そして中学校それぞれ

・久松潜一賞(1)・最優秀賞(1)・優秀賞(2)・優良賞(2)

※ 東浦高等学校は校内選考

今年度は1年生200名

- ① 現在 (小) 各校12点 自由・課題の各題ごとに各学年1点 2点×6学年
(中) 各校6点 自由・課題の各題ごとに各学年1点 2点×3学年

② 令和3年度(小学校) 各校6点(各学年1点) 各校12点から6点へ減少

・低学年2点×7校=14点

・中学年2点×7校=14点

・高学年2点×7校=14点

合計42点

令和3年度(中学校) 各校3点(各学年1点) 各校6点から3点へ減少

・各学年3点×3校=9点

合計9点

③ 各賞の人数

小学校(42点)・久松潜一賞(3)・最優秀賞(3)・優秀賞(12)・優良賞(24)

・低学年(14点)・久松潜一賞(1)・最優秀賞(1)・優秀賞(4)・優良賞(8)

・中学年(14点)・久松潜一賞(1)・最優秀賞(1)・優秀賞(4)・優良賞(8)

・高学年(14点)・久松潜一賞(1)・最優秀賞(1)・優秀賞(4)・優良賞(8)

中学校(9点)・久松潜一賞(1)・最優秀賞(1)・優秀賞(2)・優良賞(5)

5 審査

審査会(各賞への振り分け)は、学校図書館部会で行う。

6 「作品集」制作の継続(令和3年度は第30号)

7 その他

「読書感想画」も感想文と同様の実施を検討中

現在は各校12点